

ヒューマン・ドキュメンタリー

# カタロウガン! ロラたちに正義を!

KATARUNGAN

「ロラ」はタガログ語で「おばあさん」、「カタロウガン」は「正義」を意味します。

監督／竹見智恵子 撮影・編集／中井信介 音楽／アリソン・オパオン  
企画・制作／フィリピン元「慰安婦」支援ネット・三多摩(ロラネット) 2011年/カラー/デジタル/69分



最後のひと息まで  
闘い抜いて、  
笑顔で人生を  
終わりたい  
……

2022年4月17日(日) 14:00~16:30 (開場 13:30)

■ 会場 ソレイユさがみセミナールーム1 (JR/京王 橋本駅北口イオン 6F)

■ 参加費 1,000円/大学生以下・障がいのある方・介助者 500円

※ 感染予防のため、チケット配布は行いません。参加費は当日受付でお支払いください。

## 【お申し込み・お問い合わせ】

1. Google フォーム <mailto:https://forms.gle/rzdUPpAd19yLtefc8> こちらからも→
2. メール [tekutekumari55@gmail.com](mailto:tekutekumari55@gmail.com) (お名前・チケット枚数・連絡先をご記入ください)
3. 電話 042-773-7064/090-8042-8157



上映後、ロラネットの方からのお話を聞く予定。フリートークの時間もあります。

**主催 「慰安婦」問題を考える市民の会・相模原いい映画をみる会**

新型コロナ感染予防のため、入場前に手指の消毒、マスクの着用をお願いします。

カタロウガン!

# ロラたちに

KATARUNGAN

を!

監督/竹見智恵子 撮影・編集/中井信介 音楽/アリソン・オパオン

企画・制作/フィリピン元「慰安婦」支援ネット・三多摩(ロラネット) 2011年/カラー/デジタル/69分

## あらすじ

太平洋戦争が始まった時、フィリピンはアメリカの植民地だったため、否応なく日米の戦争に巻き込まれました。日本軍が侵攻してくると、長年植民地支配に苦しんできた人びとは、新たな侵略者である日本軍への抵抗運動を組織して立ち上がりました。日本軍はこうした人びとの動きをゲリラの蜂起と見なし、激しい弾圧を加えます。こうした中で、若い女性や少女たちが次々と捉えられて「慰安婦」にされたり、ゲリラへの報復として集団レイプを受けるなど、日本軍による激しい性暴力の嵐が吹き荒れました。

90年代に入り、被害女性たちは長い沈黙を破って日本政府相手に謝罪と補償を求める戦いを開始しましたが、日本政府は、わずかなチャリティー・マネー(アジア女性基金)で責任を回避し、今も問題は解決していません。ロラたちはこのままでは自分たちの正義は回復されないと、80歳を過ぎた今も街頭デモに参加し、闘い続けています。カメラは、そんなロラたちの姿を、マニラ首都圏、ルソン島マパニケ村など、各地に追いました。

## 制作スタッフ紹介

### 竹見智恵子(監督)

女性の人権や日本の戦争責任に関心を持ち、フィリピンの「慰安婦」裁判や靖国合祀取消し裁判等を長年取材してきた。特に「慰安婦」問題は、日本政府による真の問題解決に至らないことから、高齢を押しして今なお闘い続けるロラたちの姿を映像に残そうと、初めてドキュメンタリー作品に挑戦。今年5月に完成した。

### 中井信介(撮影・編集)

フィリピン、韓国、マレーシアなど、アジア各地に足を運び、環境破壊や基地拡張闘争など社会が引き起こす問題や、そこで生きる人びとを等身大に捉えて撮り続けている。テレビのドキュメンタリー番組も手がけるビデオ・ジャーナリスト。

### アリソン・オパオン(音楽)

フィリピン・ミンダナオ出身のカルチュラル・ワーカー&ミュージシャン。環境問題など社会問題を伝えるメッセージソングを歌うほか、演劇ワークショップのファシリテーターとしても活躍。在日フィリピン人自助組織「KAFIN」横浜代表。



## 監督のひとこと



はじめてロラたちに会った時のことが忘れられない。日本兵から性暴力を受けた身を恥じて、消え入りそうに小さくなっていった。その後、人前で自分を語り、差別と闘う中で、悪いのは自分たちではなく、日本兵の方だと学んだ。損なわれた尊厳を取り戻すための、長くきびしい闘いがその時から始まった。そして今、ロラたちは80歳を過ぎて輝いている。生きるとは何か、人間とは何か、あなたに知ってほしいロラたちの真実。(ジャーナリスト)

## ■上映会を開催しませんか?

DVD『カタロウガン!ロラたちに正義を!』(69分)の貸出しを行っています。貸出し料金は、30人以上のグループの場合、少人数の場合、ひとりの場合など、人数によって異なります。買い取りを希望される方も、ぜひご相談ください。

## 問い合わせ・申込みは

フィリピン元「慰安婦」支援ネット・三多摩(ロラネット) 181-0014 三鷹市野崎3-22-16 ピナット気付  
TEL 090-6198-7842(山田) FAX: 0422-32-9372 e-mail: [kunikospace1@yahoo.co.jp](mailto:kunikospace1@yahoo.co.jp)